

2003年度中間決算説明会

株式会社クラレ
代表取締役社長 和久井康明

2003.11.12.



03年度上期 業績総括

(1) 外部環境

国内経済は低迷脱しきれず

海外は不安定な社会・経済情勢続く

原料価格高騰、対ドル円高・対ユーロ円安

(2) 当社の対応

重点成長事業の拡大

収益構造改善の推進

売値アップ努力

	03上 (実績)	03上 (計画)	02上 (実績)
円/ドル	118	120	123
円/ユーロ	134	120	117
原油/バレル	26 ^{ドル}	23 ^{ドル}	22 ^{ドル}

(3) 主要施策

グローバル競争力の強化

- ポリエステル短繊維生産子会社移管(03年4月)
- オプトスクリーン増設決定(+180万枚 04年4月稼動予定)
- メタアクリル樹脂押出板増設決定(+5,000トン 04年4月稼動予定)
- <ジェネスタ>生産体制増強(04年7月原料増設により年産3,000トン体制確立)
- 欧州PVA樹脂増設決定(+20,000トン 05年初稼動予定)
- 上海に<マジックテープ>の加工・販売拠点確立(03年8月)

開発力・起業力の強化

- 新事業企画本部の設置(03年4月)
- 米国R&Tセンター建設(04年4月開所予定)

経営機構の整備等

- クラレグループ企業ミッションの制定(03年4月)
- 執行役員制度の導入(03年6月)
- 監査役の強化(03年6月)
- 経営諮問会議の設置(03年6月)
- CSR委員会の設置(03年6月)
- 全従業員へのストックオプション付与(03年10月)

03年度上期 連結業績の概要

(1) 売上高・利益・キャッシュフロー (単位:億円)

	03上	02上	増減	
売上高	1,613	1,582	31	2.0%
営業利益	137	115	22	19.1%
経常利益	124	100	24	24.5%
当期利益	83	36	47	129.9%

	03上	02上	増減
減価償却	98	92	6
営業CF	129	206	77
設備投資	133	82	51
配当	17	18	1

(2) 財務指標

	03年度上期	02年度上期	増減
売上総利益率	29.1%	28.2%	0.9%
売上営業利益率	8.5%	7.3%	1.2%

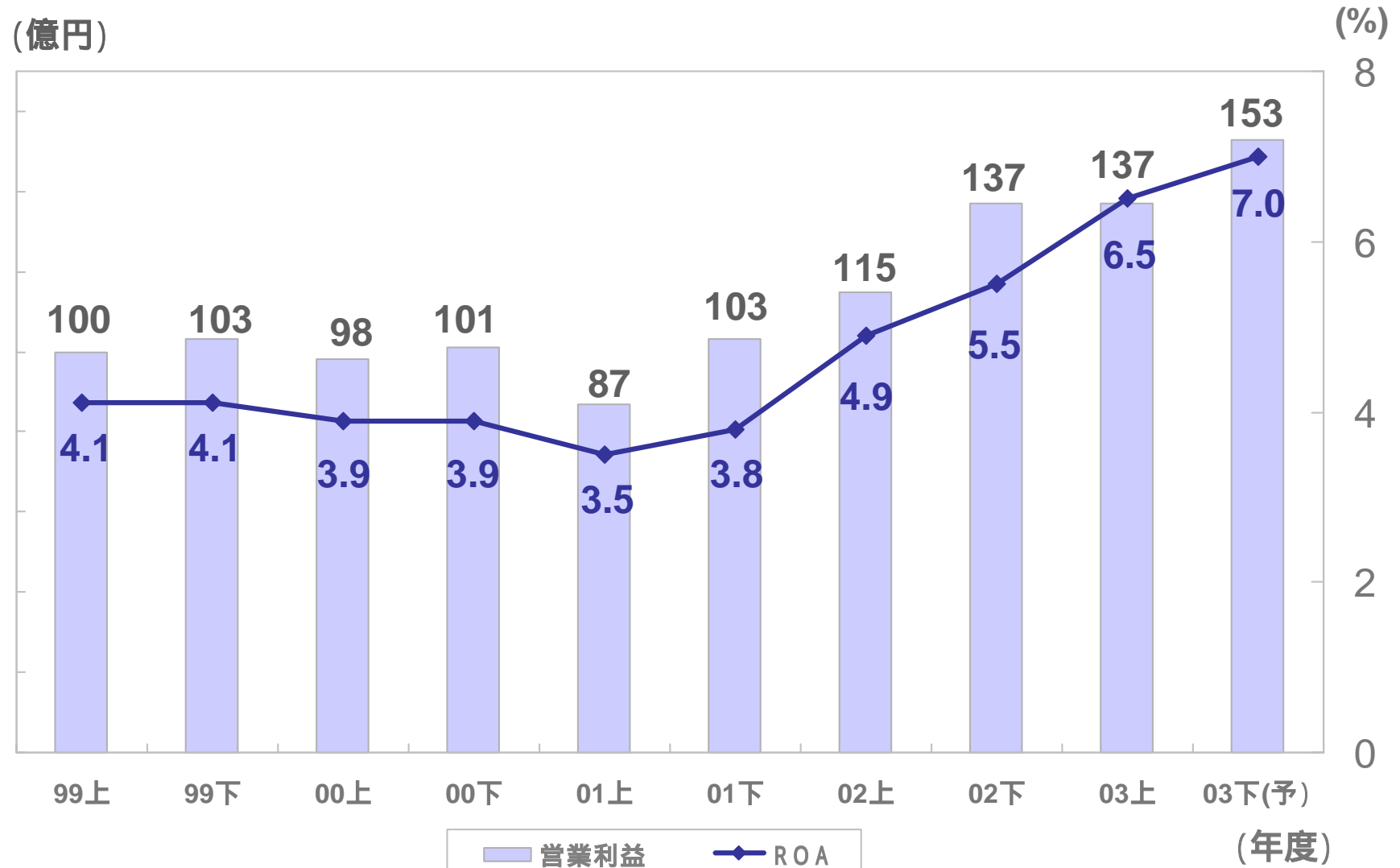
	03年9月末	02年9月末	増減
ROA (年間換算ベース)	6.5%	4.9%	1.6%
総資産回転率	0.76回	0.67回	0.09回
株主資本比率	72.0%	63.0%	9.0%
ROE (年間換算ベース)	5.7%	2.5%	3.2%

ROA (年間換算ベース) : 半期営業利益 × 2 / 期首・期末平均総資産

ROE (年間換算ベース) : 半期当期利益 × 2 / 期首・期末平均株主資本

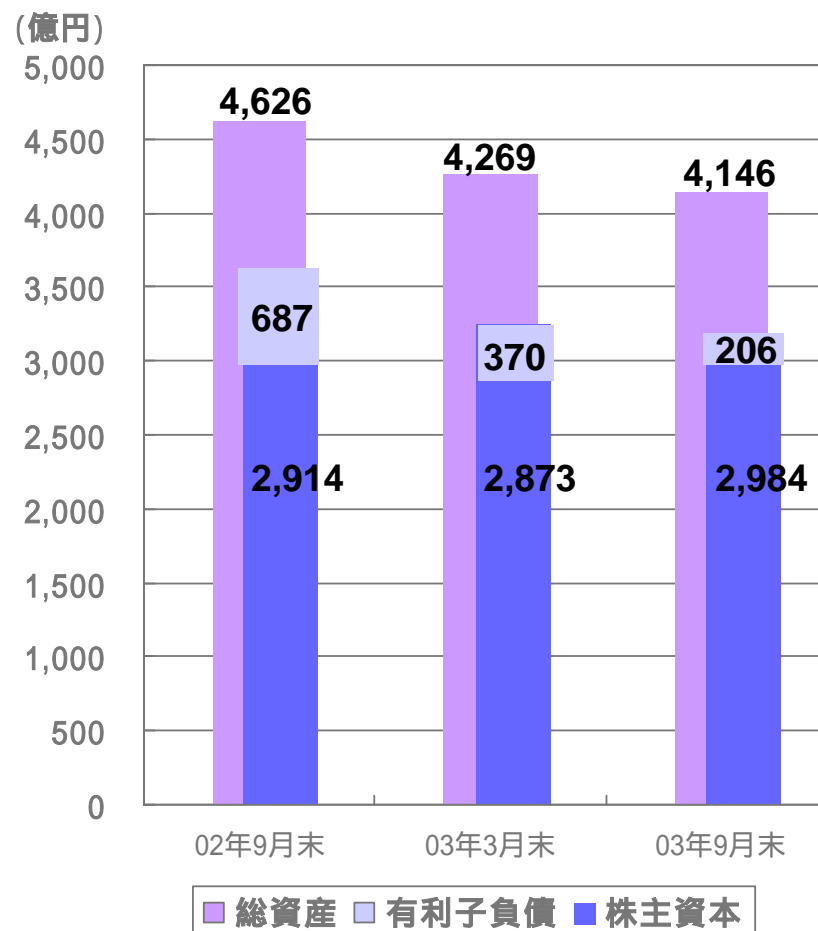


(3) 連結営業利益・ROAの回復



財務状況

	03年度 上期	02年度 上期	増減
(棚卸資産) 回転月数)	(2.4)	(2.5)	(0.1)
総資産 回転率(回)	0.76	0.67	0.09
ROA(%)	6.5	4.9	1.6
有利子 負債比率 (%)	6.9	23.6	16.7
株主資本 比率(%)	72.0	63.0	9.0
インタレスト・ ガレッジ・ レシオ(倍)	39.2	15.8	23.4



インタレスト・ガレッジ・レシオ = (営業利益 + 受取利息および配当金) ÷ 支払利息

セグメント別業績

(1) 売上高・営業利益

(単位:億円)

	03年度上期		02年度上期		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
化成品・樹脂	763	117	709	88	54	29
繊維	525	28	544	25	19	3
機能材料・ メディカル他	325	41	329	39	4	2
消去・全社	-	49	-	37	-	12
合計	1,613	137	1,582	115	31	22

(2) 営業利益増減要因

(単位:億円)

	化成品・ 樹脂	繊維	機能材料・ メディカル他	消去・ 全社	計
売値	13	2	1	-	10
数量・構成	28	5	0	-	23
為替	1	1	3	-	1
原燃料	17	3	2	-	18
コストダウン等	4	12	4	12	8
合計	29	3	2	12	22

02年上
03年上

88

117

25

28

39

41

37

49

115

137

(3) 化成品・樹脂

(単位:億円)

	03年上	02年上	増減
売上高	763	709	54
営業利益	117	88	29
使用資産	1,768	1,670	98
ROA (%)	13.4%	10.5%	2.9%

ポバール	増収・増益	欧州・日本堅調、光学用フィルム好調
エバール	増収・増益	日・米・欧、食品包装・ガソリントankともに好調
メタアクリル	増収・増益	値上げ効果、導光体等光学用途好調
イソプレン	増収・増益	エラストマー順調、医薬中間体・化粧品堅調

(4) 繊維

(単位:億円)

	03年上	02年上	増減
売上高	525	544	19
営業利益	28	25	3
使用資産	804	855	51
ROA (%)	6.8%	5.8%	1.0%

ビニロン・K-	減収・増益	FRC、ゴム資材等堅調
ポリエステル	減収・赤字減少	再構築策計画進展
クラリーノ	増収・増益	スポーツシューズ等各分野好調
不織布	増収・減益	数量増も競合激化
ファスニング	減収・減益	ユーザー海外移転の影響

(5) 機能材料・メディカル他

(単位:億円)

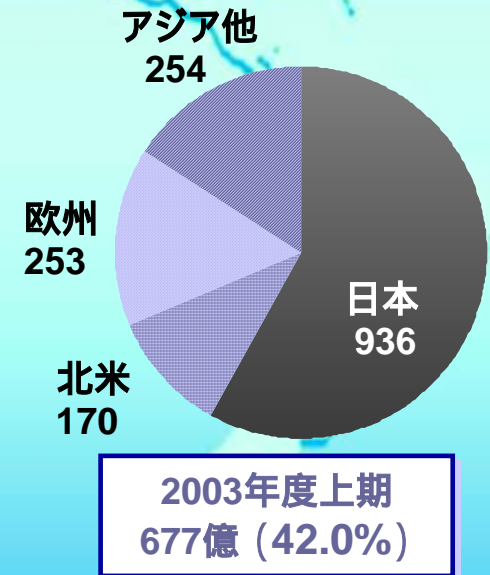
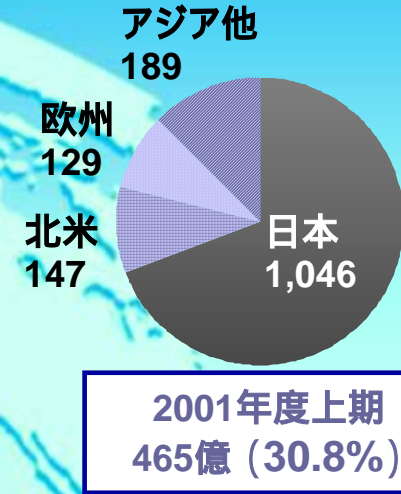
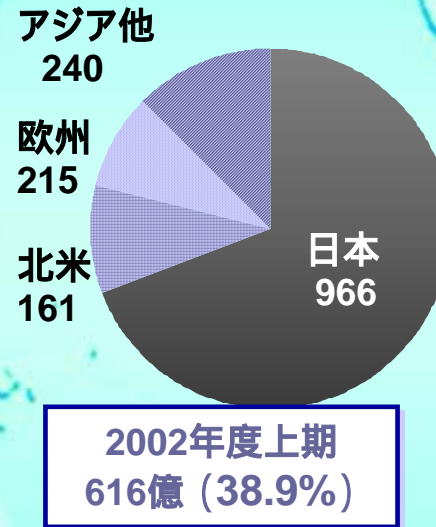
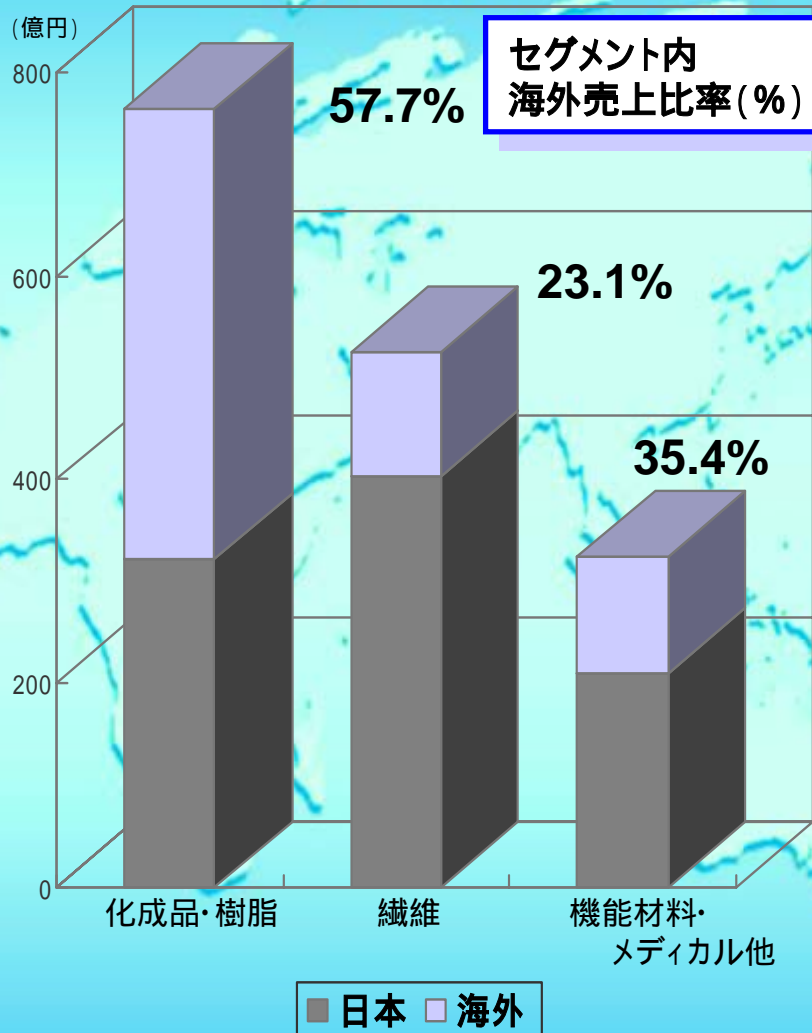
	03年上	02年上	増減
売上高	325	329	4
営業利益	41	39	2
使用資産	772	770	2
ROA (%)	10.6%	10.0%	0.6%

オプトスクリーン	減収・減益	SARS影響、対ドル円高影響
メディカル	減収・減益	歯科材料順調、人工臓器数量・価格低下
機能材料	増収・赤字減少	ジェネスタ順調に拡大
国内関連企業他	減収・増益	活性炭好調

海外展開の進捗

12

(億円)



2003年度 通期見通し

(1) 概要

(単位:億円)

	上期	下期	通期	対前年比	
売上高	1,613	1,687	3,300	75	2%
営業利益	137	153	290	38	15%
経常利益	124	141	265	41	18%
当期利益	83	67	150	69	85%
設備投資	133	153	286	95	50%
減価償却	98	110	208	17	9%

* 主な設備投資案件...エパールヨーロッパ、オプトスクリーン、メタアクリル樹脂

* 下期前提...為替 110円/ドル、130円/ユーロ、原油(Dubai) 26ドル/バレル

(2) セグメント別見通し

(単位:億円)

	売上高			営業利益		
	上	下	計	上	下	計
化成品・樹脂	763	807	1,570	117	128	245
繊維	525	525	1,050	28	27	55
機能材料・メディカル他	325	355	680	41	49	90
消去・全社	-	-	-	49	51	100
計	1,613	1,687	3,300	137	153	290

(3) 事業別方針

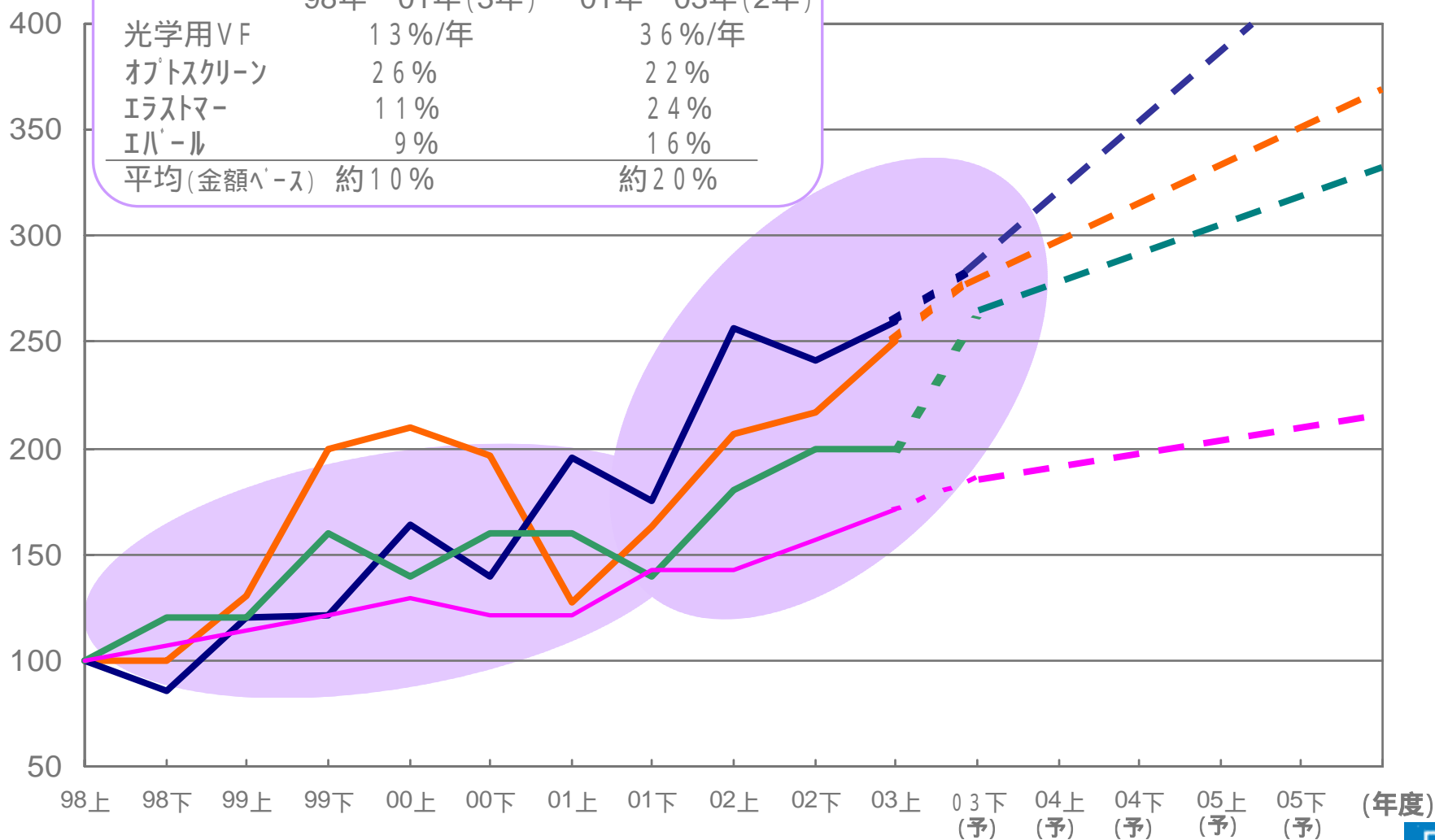
化成品・ 樹脂	ポバール	値上げ浸透、KSA収益改善、グローバル効率経営、光学フィルム圧倒的シェア確保、水溶性フィルム拡販。
	エバール	ガソリントank用途拡販、日・米・欧 + 中国・アジアでの拡大、新規バリアー材の市場投入。
	メタアクリル	成型材料増設分のスムーズな立上げ、光学分野での拡販・新製品の投入。
	イソプレン	エラストマーの用途拡大(自動車、塩ビ代替)、医薬中間体・化粧品品の拡販。
繊維	ビニロン・K-	FRC用途とフィラメントの拡販、K- は水溶性分野、ECCでの展開加速。
	ポリエステル	独自ポリマー・差別化品の拡大、収益構造のさらなる改善。
	クラリーノ	靴分野での販売数量拡大、インテリア・カーシート増。新プロセスの開発加速。
	不織布・ ファスニング	コスト合理化と新規商品の早期寄与。ファスニング上海加工販売会社立上げ。
機能材料・ メディカル 他	オプトスクリーン	米国での拡販と中国でのリカバリー。商品開発の強化。
	メディカル	歯科材料グローバル展開加速化。新製品開発。市場投入推進。
	機能材料	ジェネスタの事業拡大(コネクター、自動車)、電子材料素材市場展開強化。

重点成長事業

成長率(数量ベース)

	98年～01年(3年)	01年～03年(2年)
光学用VF	13%/年	36%/年
オプトスクリーン	2.6%	2.2%
エラストマー	1.1%	2.4%
エパール	9%	1.6%
平均(金額ベース)	約10%	約20%

04年以降は中期計画イメージ



— 光学用ビニロンフィルム — オプトスクリーン — エラストマー — エパール



成長事業の設備投資計画

17

	2003年	2004年	2005年	内容および 貢献売上高	
ポバール		30		KSE増設2万t	45
ビニロンフィルム			25	光学用フィルム 増設	30
エバール	100	30	(200)	EE2ndライン増設 Evalca4thライン	90 (+180)
オプト	20	25	30	スクリーン180万枚、 等	80
エラストマー		20	20	セプトン増設 (鹿島、SEPCA)	60
光学用 メタアクリル樹脂	20	20	5	増設(押出し5千t、 ペレット2万t)	60

= 海外



R & D 早期事業化のために

18

SRDT (ストラテジック・リサーチ・アンド・デベロップメント・テーマ)

光デバイス

新規ハイガスバリア材

次世代人工皮革

高性能エンブラ

配当について

19

企業成長のための投資と利益配分のバランスを考慮し、連結配当性向25%を目処に持続的増配を目指す。



今期 当期利益150億円を前提として

配当金 9円 10円 への
増配を予定

戦略領域の動向(1)

			化成品・樹脂	繊維	機能材料・ メディカル他
重点事業	戦略領域	電子情報	偏光膜用 ビニロンフィルム	電池セパレーター用 ビニロン	OPTスクリーン <ジェネスタ>
		環境フレンドリー	<エバール> <セプトン> <ハイブラー>	アスベスト代替 ビニロン	
		環境事業			PVAゲル 工業膜 活性炭
		メディカル			歯科材料 人工臓器
	多様化領域	PVA(その他用途) イソプレン ファインケミカル	ビニロン、K- (その他用途) 人工皮革		
その他事業(含む再構築事業)		MMAモノマー他	ポリエステル 不織布他	その他子会社	

戦略領域の動向(2)

(単位:億円)

			2001年度 実績	2002年度 実績	2003年度 上期実績	2003年度 (中期目標)	2005年度 目標
重点事業	戦略領域	電子情報	230	300	160	370	600
		環境フレンドリー	450	470	250	520	700
		環境事業	100	130	60	140	160
		メディカル	150	150	75	160	180
	戦略領域 計		930	1,050	545	1,190	1,640
	多様化領域		740	950	510	970	1,060
	重点事業 計		1,670	2,000	1,055	2,160	2,700
その他事業(含む再構築事業)		1,390	1,225	558	1,240	1,300	
合計		3,060	3,225	1,613	3,400	4,000	

【ご参考】 **2003年度予想営業利益
増減要因(02年度/03年度)**

	化成品・ 樹脂	繊維	機能材料・ メディカル他	消去・ 全社	計
売値	10	4	9	-	3
数量・構成	49	3	12	-	58
為替	7	2	8	-	17
原燃料	24	6	2	-	28
コストダウン等	18	22	10	22	28
合計	46	7	7	22	38

02年度
03年度

199

245

48

55

83

90

78

100

252

290

ご注意

金額表示は億円未満四捨五入にしております。

本資料中の業績予想、見通し及び事業計画についての記載は、将来の事業環境・経済状況等に関する現時点での仮定・推測に基づいています。実際の業績は、これと異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。